

議会報告会報告書

平成24年8月10日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

B班

代表 大井淳一郎

平成24年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年7月27日（金） 19:00 ～

2 開催場所

きらら交流館

3 参加人数（市民）

24 人

4 担当班議員名

（ 中村博行 ）（ 小野 泰 ）（ 山田伸幸 ）（ 高松秀樹 ）
（ 河野朋子 ）（ 岩本信子 ）（ 大井淳一郎 ）

5 報告会次第

（1） 市議会議長挨拶

（2） 6月議会の報告

① 総務文教常任委員会 中村 博行

② 民生福祉常任委員会 小野 泰

③ 産業建設常任委員会 山田 伸幸

④ 議会運営委員会 高松 秀樹

（3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

- ① 請願者はどういう理由で議員定数を減らすべきだと考えているのか。

[回 答]

議会が自ら定数を考える時代になったこと、市民アンケートで「定数が多すぎる」という回答が多かったこと、人口・産業で類似している下松市や光市を参考にとすると20人が一番良いとの結論を導き出したことが主な理由である。

- ② 「適正な議員定数を検討する議員協議会」をいつ特別委員会に切り替えるのか。政策討論会をいつ開催するのか。

[回 答]

協議会である程度の方針が出てからになるが、いずれは特別委員会に切り替えなければいけないと考えている。政策討論会については出来る限り早い時期に開催したい。

- ③ 以前、ジェネリックの周知を目的とした説明会をしてほしいとお願いしたが、その後どうなったか。

[回 答]

まだ行っていない。大至急、周知していく。

- ④ 国保法第44条（一部負担金の減免）の適用状況は。

[回 答]

よく承知していない。

- ⑤ 耐震診断を受けて耐震工事が必要とされたが既に800万円の枠が終了していた場合、補正予算をつけることは可能か。

[回 答]

補正予算の予定はないが、まずは耐震診断を受けてもらうことが必要であると思う。耐震診断と住宅リフォーム制度の担当は別々であるが、より使いやすい制度になるよう求めていく

- ⑥ 海抜表示により地価が下落する可能性があることについて議論はあったか。

[回 答]

議論はなかった。

⑦ 海拔表示よりも避難方向の表示が必要ではないのか。

[回 答]

先進事例を参考にしながら、委員会で要望していく。

⑧ 本山線が1日4本しかない。乗ってくれと呼びかけるだけでなく、地元の要望を聞き入れるような形を作ってほしい。

[回 答]

生活交通活性化協議会の中で協議されているが、なかなか乗車が進んでいない。市をあげて利用促進していく必要がある。地元で上がった声をきちんと執行部に伝えていく。

⑨ もう少しわかりやすい形でジェネリックの周知をしてほしい。

⑩ 議会基本条例が項目倒れにならないようにしっかりPRしてほしい。議会のあるべき姿と現実のギャップを埋めるアクションプランを作ってほしい。